



### 志望校を決めたきっかけや時期について教えてください。

**田端:** 高1の頃から行きたいと思ってました。1番は兄(AC卒)の影響で。1番上の兄が行っていたのを見たり聞いたりして楽しそうって思ったのが大きかったです。自由に自分のしたいことができる環境なんやな、という印象で。兄には負けたくないという思いもあったかも…(笑)

**赤井:** 関学を目指すにあたって。入試方式とかも調べたりした？お兄さんは2人とも一般選抜での合格だったけど。

**田端:** 特に調べたりはしていなかったけど、星林高校には指定校推薦の枠があるから、行けるものなら指定校推薦で決めたいなとは思ってました。

### 指定校推薦で合格するために、意識していたことはある？

**田端:** 勉強面では、苦手な数学は、早めに勉強を始めるようにはしてました。学校の4プロを。とりあえず1周目でわからなかった問題や間違えた問題にチェックをつけておいて、2周目はチェックがついている問題を。最後にテスト前日にもう1回チェックがついている問題を見て…。合計3周ぐらいかな。

**赤井:** 3周はやるようにしてたんや。他の教科は？

**田端:** 評定で5を取りたいという教科は決めていて。英語とか社会系は絶対5、国語・数学は最低でも4を目標に。3は考えてない。

**赤井:** 英語と社会は5を目標に。具体的にどんな風に勉強していた？

**田端:** 社会は、日本史が好きなので、学校の授業をちゃんと聞いて、教科書を読み込んで覚えるようにしました。現社も基本は教科書。あとは、授業中にもらったプリントを使って。英語も、特にになにかを極めた、という感じではなく、テスト範囲の単語を覚えて…。学校で「これはやりなさい」と言われていたことをその通りにやってきた、という感じです。

### アカデミーキャンパスの授業はどうだった？

**田端:** 英語が良かったです。小倉先生の授業、楽しかったです。受けはじめた頃に比べて、かなりできるようになりました。授業中にしてくれる雑談もおもしろかったし。

**赤井:** 徳山先生の数学はどうだった？

**田端:** 最後まで不得意のままでした(笑)。もともと苦手意識があったので…。ただ、テスト期間中は、演習の時間もいっぱい取ってくれて、個別で質問も聞いてもらえたので、そのおかげで定期テストの点数はちゃんと取っておくことができました！

**赤井:** サテラインは？

**田端:** 土屋先生の日本史の授業、ほんまに楽しかった！堅苦しい授業じゃなくて。毎回、笑いをこらえながら受けてました。色々な話を日本史につなげて教えてくれるので頭にも残りやすくて。もともと日本史は得意やったけど、流れを整理したり、知識を深められたのがよかったです。



進学先

## 関西学院大学

法学部

田端 小太郎さん

星林高校  
ラグビー部

### インタビューー

赤井栄木  
(AC 県庁前校カウンセリングスタッフ)

## 部活はラグビー部。部活との両立、 どんなことに気を付けてた？

**田端：**基本的に部活をそこまで長時間やることはなかったのですが、意外とそんなに大変でもなかったです。高3になってから怪我をして練習できなかった時期があったけど、テストが近かったということもあって、練習できないから勉強させてほしい、って先生に頼み込んだら許してもらえて。その結果、中間テストめっちゃ点数取れたから、評定を上げるにはちょうどよかったです (笑)

## 関学まで受けに行った面接試験では どんなことを聞かれた？

**赤井：**最終的に3年間の評定は4.5。よく頑張ったね！校内選考もクリアできて。実際に関学に受けに行った面接試験ではどんなことを聞かれた？

**田端：**まずは、志望理由を。事前に志望理由書を提出しているので、それを要約して答えてって言われて。俺は志望理由書に『歴史が好きやから、歴史を絡めた法律を学びたい』っていうことを書いていたのでそれを伝えたんですけど、そのことについてどんどん深掘りされていった感じでした。

**赤井：**志望理由以外は？

**田端：**面接官2人、受験生2人の15分ぐらいの面接で。2人とも、志望理由から深めたことをどんどん質問される、という面接でした。それ以外の質問は、お互いの志望理由について、どう思うか、って聞かれて。隣の子は『国際社会で…』というような話をしていたので、それについて自分の思うことを即興で話しました。特に厳しい質問はなかったけど、どんどん深掘りされていく中で、もう答えが出て来なかったから『わかりません、まだ考えられていません』って答えたら、『じゃあ、入学してから学んでくださいね』って言われて。わからない時はわからないって言った方がいいですね。

## 大学入学後や卒業後のビジョンは ある？

**赤井：**無事合格できてよかったです。もう大学に向けての準備とかは進んでいますか。指定校での合格者には課題があったり、入学後すぐにテストもあったりすると思うけど。

**田端：**英語はクラス分けのテストがあるみたいなので、英語の勉強…やろうとは…しています (笑)

**赤井：**大学入学後にしたいこと、卒業後のビジョンとか、考えてることはある？

**田端：**卒業後に関しては、全然考えていません。なんて言うか…どこかに就職したいからとか、将来何になりたいから、法学部と決めたわけではなく、どちらかと言うと、単純に『法律を学びたいから』『法律に興味があるから』という理由で法学部を選んだので…。まあ、最終的にそれが繋がったり、活かせたりする職業があれば、そこに…という感じですね。

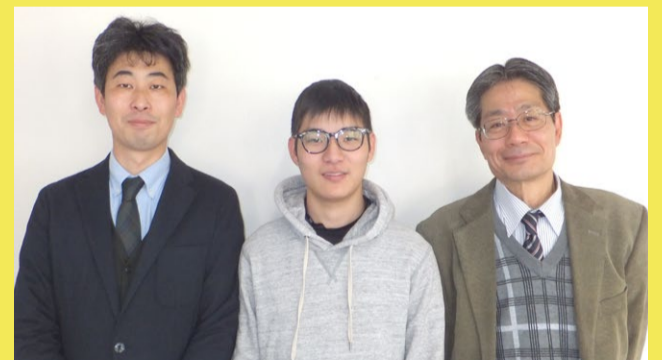
## 最後に、後輩へのアドバイスをお願い します！

**田端：**推薦も考えられるように、評定は絶対取っとなあかん、ということですね。評定をとるために定期テストの勉強をする。僕は、特別なことってほんまに何もしてなくて。普通に…テスト期間にはちゃんとテスト勉強をしてきただけ、という感じです。普通にやっつけ、って感じです (笑)

**赤井：**なるほどね。普通の、当たり前のことを3年間きちんと続けることが大切なんやな。

**田端：**あと、顧問の先生をはじめ、学校の先生とは、仲良くなっておいた方がいいです。絶対に (笑)ちゃんと授業を受けて、テスト勉強をして…。関関同立を目指すなら、オール5を狙う、とか、3は取らない、とか。それぞれ自分の目標を決めて頑張ってもらいたい。

## 編集後記 ~インタビューを終えて~



AC数学科 徳山俊彦

数学は高2以降苦戦する時もありましたが、定期考査ではしっかり点数をとっていました。高3への進級まで努力していました。大学進学後は更に精進してくれるよう、頑張ってもらいたいものです！

AC英語科 小倉良太

“やるべきことはしっかりやる”、“楽しむときにはしっかり楽しむ”というメリハリのつけられる生徒でした。授業中でも、解説・演習中の集中力が高かったです。日本史の話題になると、かなり語ってくれました (笑)定期考査の結果や評定は安定していましたが、浮かれることなく一般入試を見据えていた姿も頼もしかったです。合格おめでとう。大学では歴史を絡めて法律をしっかり学んでください！

